

表計算ソフトのチャート描画例

tiJvq-240910 (Last update 240913)

■JvqBleMac でCSV保存



クリックするとマーカー(縦線)を表示します

保存する範囲を指定してCSV保存
この例では[0]~[120]を保存します

・保存したCSVデータ(コンマ区切り)
No, Date, X, Y, Z, T, H
0, 2024/09/09 17:11:30.000, 0.00, -1.00, 0.00, 30.4, 49
1, 2024/09/09 17:11:31.000, 0.00, -1.00, 0.00, 30.4, 49
2, 2024/09/09 17:11:32.000, 0.00, -1.00, 0.00, 30.4, 49
3, 2024/09/09 17:11:33.000, 1.04, -1.03, 0.50, 30.4, 49
4, 2024/09/09 17:11:34.000, 1.27, -1.05, 1.03, 30.4, 49
(以下略)

保存範囲先頭 末尾

チェックボタン押下で
マーカーの位置を設定できます

■Windows11 Excel

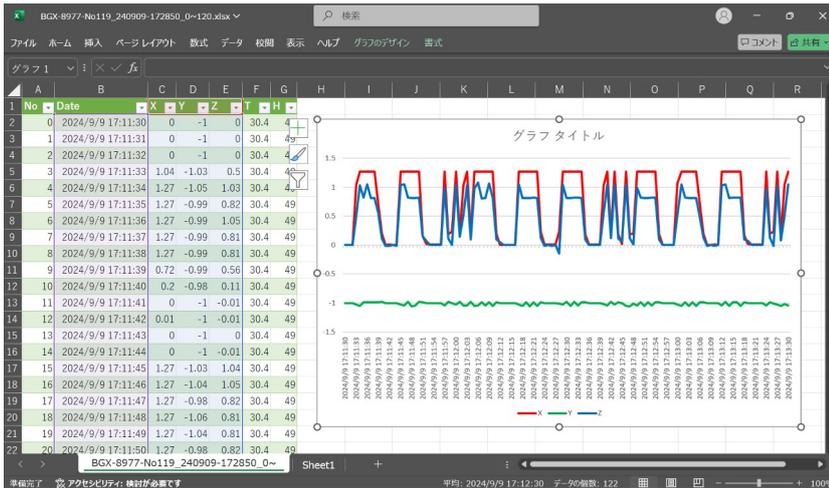
新規 空白のブック > メニュー データ データの取得 > テキストまたはCSVから
区切り記号 = コンマ で読み込み

B列のセルの書式設定 yyyy/mm/dd hh:mm:ss

B~E列を選択 メニュー 挿入 > おすすめグラフ > 折れ線 > OK でグラフ描画

軸の書式設定 軸のオプション > 軸の種類 = テキスト軸、ラベル > ラベルの位置 = 下端/左端 でラベル位置調整

凡例項目の書式設定 凡例項目のオプション > 枠線 > 色 で線色を変更



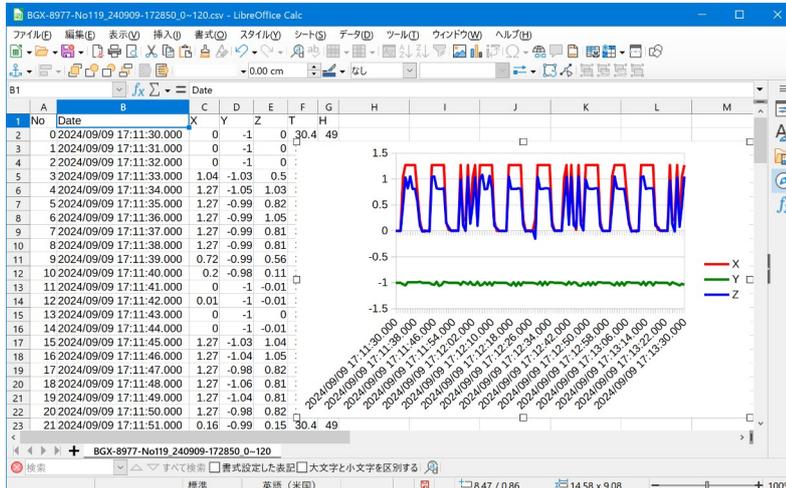
■Windows10 LibreOffice Calc

メニュー ファイル > 開く > 区切りのオプション = コンマ > OK

B~E列を選択 メニュー 挿入 > グラフ > グラフの種類 = 線, 線のみ > 完了

軸の書式 > X軸 > 位置 > 軸ラベル 軸ラベルの配置 = 左端/下端 > OK

X, Y, Z凡例キーを選択して データ系列 > 線 > 線の属性 色 を設定



■MAC Numbers

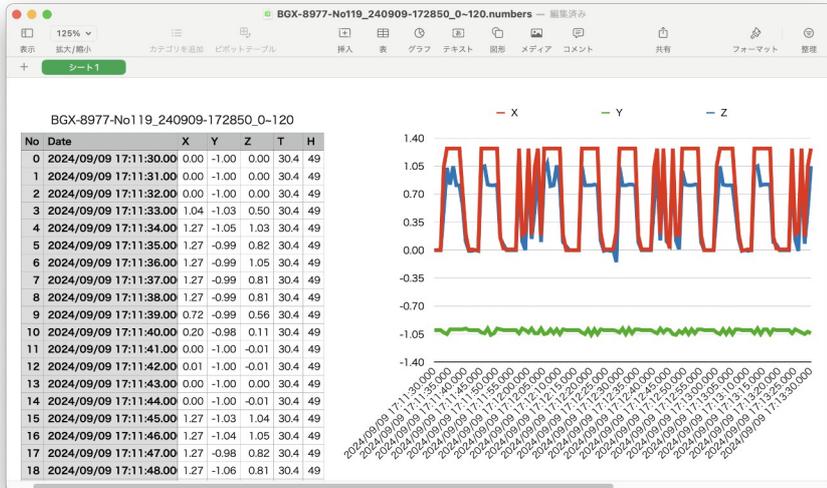
CSVファイルを開く

B列(Date)をヘッダ列に変換、B~E列を選択 > メニュー 挿入 > グラフ > 2D折れ線

・フォーマット

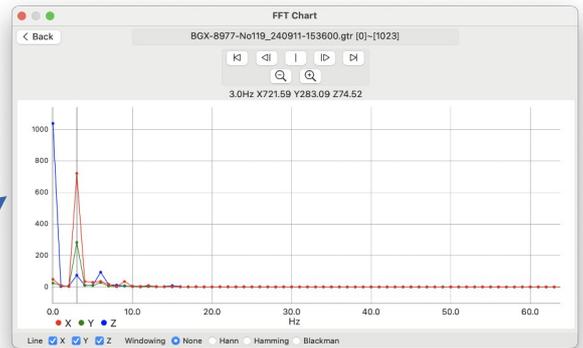
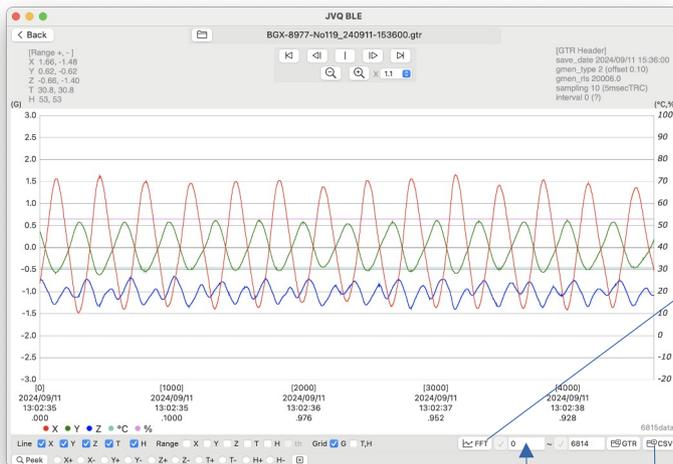
Date部分をクリックしてセレクト状態 > 軸ラベル > ラベル角度 = 左(斜め)

グラフをクリックしてセレクト > [データ参照を編集] > X, Y, Z 各スタイル > 接続の線 カラーの選択



■FFT(Fast Fourier Transform)

・JvqBleMac でJVQから読み込み、CSV保存



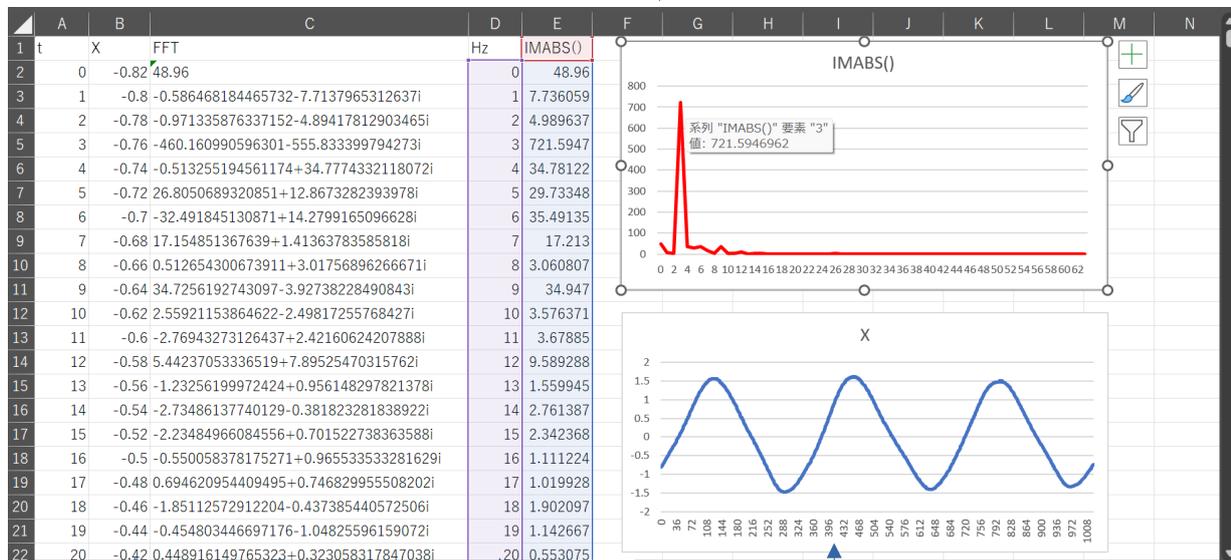
FFT解析結果(左の[0]~[1023])

FFT Modeで取得

FFT開始位置
(1024個固定)

CSV保存

・Excel でフーリエ解析



X軸G

フーリエ解析の結果(複素数) 周波数 複素数の大きさ

1秒間のX軸G